

R6年度 低まん延化後の結核対策における東京都の人材育成

資料4

(1) 東京都の結核患者の推移

かつて国民病といわれ、我が国の死因で最も多くを占めていた時代があった結核患者は、関係者のたゆまぬ努力により、2000年代に入った後も減少し続け、2022年には東京都における人口10万人当たりの結核罹患率は8.5となり、低まん延国の中でも10未満を達成した。

しかしながら、欧米の多くの先進国が経験したような罹患率の逆転上昇を起こすことが無いように引き続き適切な対策を実行すると共に、結核前根絶に向け地域特性を考慮した対策が必要となってきた。

(2) 低まん延化後における結核啓発

結核患者の総数は減少傾向ではあるが、高齢者や外国人の全体に占める割合は増加傾向であり、外国出生結核患者においては、出身国も多様化している。

したがって、これまで行ってきた普及啓発の継続のみならず、SNSの活用や、高齢者施設や外国人労働者の管理団体等に対しても正しい知識の普及啓発についても積極的に行っていく。

(3) 令和6年度の人材育成の取り組み（結核予防講演会）

*はアンケート回答者からの報告数

参加者数など

No	開催日時	対象者	テーマ	内容	講師	会場	
1	7月25日 (木) 14:00～ 16:30	保健所職員	患者支援に活かす！いちから学ぶ結核検査のすすめかた BSL3施設見学含む	○結核診断のための抗酸菌検査について ○IGRA検査について ○結核の分子疫学調査について ○施設見学	健康安全研究センター病原細菌研究科 課長代理 安中めぐみ	定員:30名 申し込み者:34名 参加決定者:31名、参加者27名 参加者内訳:職種*(保健師:25名、事務1名) 結核業務経験年数*:1年未満19名、1～2年6名、2年以上1名	健安研
2	8月15日 (木) 14:00～ 15:30	小中学校職員	生徒や先生が結核！？焦らず対応するために学ぶ結核の基礎知識と保健所との連携	○結核の発生状況と基礎知識 ○学校での発生時の対応	・東京都健康安全研究センター 健康危機管理 情報課 疫学情報担当課長 村田ゆかり ・江戸川区保健所 藤田悦子	定員:200名 申し込み者:108名 参加者:ライブ配信39名、オンデマンド配信再生数:140回 参加者内訳:職種*(養護教諭21名、保健師16名、行政職員7名、その他2名) 所属(小学校14名、中学校8名、教育委員会8名、保健所13名、その他3名)	Web (健安研)
3 ★	8月26日 (月) 14:00～ 16:30	保健所職員	低まん延下の結核対策 —困難事例の対応と今後取り組むべき課題—	○低まん延下の結核対策 ○事例報告(内服を拒否する外国出生者) ○事例報告(入院勧告に応じない)	・結核研究所 対策支援部 保健看護学科 科長 座間智子 ・池袋保健所 佐藤桃香 ・品川区保健所 生方麻衣子	定員30名 申し込み者:20名 参加者19名 参加者内訳:職種(保健師19名、医師1名) 結核業務経験年数:1年未満6名、1～2年5名、3～4年6名、5年以上1名	リファレンス西新宿
4	9月4日 (水) 14:030～ 15:50	日本語教育機関	基礎から学ぶ！日本語教育機関における結核対策	○日本語教育機関等における結核対策 ○日本語教育機関に通う生徒が結核に感染した際の対応	・国立国際医療研究センター病院 橋本理生 ・八王子市保健所 小坂太郎	定員:250名 申し込み者:ライブ配信163名 録画データ配信66名 参加者 ライブ配信参加者:131名、録画データ視聴:194回 内訳:職種*(学校管理者11名、教員6名、健康管理責任者30名、国際交流等担当者15名、行政職員28名、その他8名) 所属(日本語学校教育機関36名、大学・短期大学42名、各種・専修学校19名、保健所等34名)	Web (健安研)
5	9月19日 (木) 13:30～ 16:00	保健所職員	事例から考えよう！接触者健診のすすめ方	○接触者健診の基礎知識 ○事例による演習(病院・学校)	・結核研究所 対策支援部長 太田正樹	定員30名 申し込み者:21名 参加者19名 参加者内訳:職種(保健師:18名 看護師:1名) 結核業務経験年数(1年未満14名、1～2年3名、3年2名)	健安研
6 ★	10月17日 (木) 18:00～ 20:00	都内全医療機関職員 (薬局、クリニック含む)	今知っておきたい結核・潜在性結核感染症の診断・治療・対策の基礎知識 —低まん延を維持するために—	○東京都の結核対策と結核発生時の保健所の対応 ○結核・潜在性結核感染症の診断・治療	・東京都保健医療局 感染症対策部 防疫課 感染症対策調整担当 堀元海 ・東京都立多摩総合医療センター 呼吸器・腫瘍内科 部長 高森幹雄	定員250名 申し込み者:191名 参加者111名 参加者内訳:職種(医師:44名、看護師38名、看護師15名、薬剤師9名、臨床検査技師3名、診療放射線技師1名、不明1名) 所属:(医療機関158名、保健所30名、高齢者施設2名、その他1名)	Web (御茶ノ水ソラシティ)
7	11月28日 (木) 14:00～ 16:00	高齢者施設職員、福祉事務所職員	高齢者施設における結核対策～慌てずに対応するために、今知っておくべきこと～	○高齢者の結核対策-結核の基礎知識と感染対策- ○結核患者が発生した場合の対応	・慈恵第三病院 呼吸器科 竹田宏 ・墨田区保健所 川名由佳里	定員:250名申し込み者:ライブ配信148名 オンデマンド配信259名 参加者 ライブ配信参加者:92名、オンデマンド配信回数:357回 内訳:職種*(看護師35名、介護支援専門員22名、施設17名、介護福祉士9名、保健師5名、その他13名) 所属(高齢者施設54名、居宅介護施設事業所・介護サービス事業所33名、保健所3名、その他11名)	Web (健安研)
8 ★	11月29日 (金) 14:00～ 16:30	保健所職員	外国出生者の結核対策を考える～当事者から学ぶ患者中心の支援～	○近年の外国出生結核患者の現状と課題 ○当事者と医療通訳からみた患者中心の支援	・複十字病院呼吸器センター 高柳喜代子 ・元結核患者(マンマー出生) ・結核予防会相談室 医療通訳 上杉天々羽	定員50名 申し込み者:30名 参加者26名 参加者内訳:職種(医師2名、保健師19名、医療通訳7名、看護師1名、事務職1名) 結核業務経験年数:1年未満10名、1～2年5名、3～4年8名、5年以上7名)	リファレンス西新宿

★は結核担当主催

※その他、DOTS支援員新規登録・更新のための研修と、外国人結核患者等治療・服薬支援員(医療通訳)のフォローアップ研修を毎年実施。

令和6年度実施 重点対象者における結核対策強化健診事業

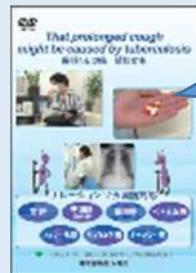


生活困窮者向け
7月17日(月)
東京都健康プラザハイジア前
受検者20名、要精検1名

外国人向け（健康相談同時開催、
ミャンマー語の通訳、ボランティア
の参加あり）
6月16日(日)
東京芸術劇場入り口横
受検者83名、要精検2名(1名結核診断)

若者（外国人）向け
9月28日(土)
秋葉原UDX サボニウス広場
受検者49名、要精検1名

動画・冊子等（結核担当ホームページ掲載中）



外国出生者
向け動画



都民向けリーフレット

高齢者向け
ポスター



外国語版
リーフレット



各種イベント等

結核予防週間の時期に開催！

結核・呼吸器感染症予防週間（9月24日から9月30日まで）
厚生労働省は上記期間を「結核・呼吸器感染症予防週間」と定めて、結核に関する正しい知識の普及啓発を図ることにしている。今年度から結核だけでなく、「呼吸器感染症」が加わりました。東京都でもライトアップや秋葉原UDXでの若年向けの無料結核健診、都内各所でのポスター掲示などを行っています。

世界結核デー（3月24日）

ドイツのロベルト・コッホ博士が、結核菌の発見を発表した日にちなみ、WHOが、毎年3月24日は「世界結核デー」と制定しました。3月16日～3月21日は世界結核デーにちなんで、都庁第一本庁舎1階アートワーク台座にて結核に関するパネル展を実施します。

3月9日(日)は世界結核デー記念行事として映画「銀河鉄道の父」の上映とともに講演会「結核をもっと身近に考えよう～結核の基礎知識～」を開催。469名の申込、254名の参加がありました。講師：結核予防会結核研究所所長 加藤誠也先生 会場：桜美林大学新宿キャンパス創新館本館3階

